

やっぱり安心して加西で暮らしたい！



西脇 親 議員
(改革未来・自民の風)

問 子ども家庭センターの設置について、組織や体制、場所はどのように考えられているのか。

答 (副市長) 全ての妊産婦・子育て世帯・子供に対する相談支援を一体的に行う機能を有する組織の設置を検討しています。安心して相談できる場所、そして安心して相談できる仕組みを提供し、市全体で子供たちの成長を見守り、応援する組織にする考えです。新たに執務室や複数の会議室を備えた附属棟として、市役所敷

地内に令和7年度中の完成を目指し、建設したいと考えています。

問 将来の農業を見据えた圃場環境について、再整備も含めて、どのような姿を描かれているのか。

答 在田南部地区では、幅広畦畔、幅広鋼板を施工しトラクタによる草刈りができる仕様、圃場の区画は1町区画を標準とし、農作業の効率化、用水のパイプライン化、排水路の暗渠化、農道横にドローン発着用の基地を整備するような形態を考えています。圃場整備事業は、地元からの申請事業で、再整備した圃場でどのような農業を目指すのかという計画が必要です。この取組に関しては、市と県が協働して地元で説明会を行いますので、声をかけていただければと考えます。

問 sora かさいの入場料について、無料の方針を貫かれるのか。応分の負担をしていただく考えはないのか。

答 (市長) 無料ということが先走り、施設自体の利便性、動線が甘くなり、非常に残念な行政運営だと思えます。

公の施設として、利用される方とされない方の公平性を図るという観点から、応分の負担をしていただくことは行政の基本だと思っています。これについては周知期間も必要となりますので、12月にも提案し、令和6年度から有料化としたいと考えています。

■その他の質問項目

- ・ 包括連携協定について
- ・ 農業用水について

加西市のしっかりとした未来のために！



橋本 真由美 議員
(清流会・かさいを育む会)

防災について

問 加西市の現在の備蓄状況は。

答 アルファ化米や備蓄用パンなど約2万食、保存水5,700本、おむつや衛生用品、その他ブルーシート320枚、毛布2,860枚などを備蓄しています。

問 備蓄状況を市民へ周知するとともに、防災の知識、意識の向上が必要ではないか。

答 全戸配布のハザードマップや広報、ホームページでお知らせしていますが、効果的な周

知方法を今後も検討したいと考えます。また、地域で自主防災訓練や避難訓練が行われる際には、若い方や女性など誰もが参加できるよう自治会にお願いするなど、広く意識の向上に努めます。

問 ペットと一緒に利用できる避難所設置やアレルギー対応等配慮が必要な方への対応は。

答 現在はペットの同行避難について想定していませんが、今後、ペット避難も含めた体制づくりに加え、動物アレルギーの方に対する対応も検討します。また、その他の支援や配慮を必要とする方やご家族の意見を伺い、本当に必要とされることを把握し、効果的な防災体制の整備に努めます。

5歳児健診について

問 発達の課題に対する支援体制について、加西市の認識

は。また、今後の支援体制は。

答 支援が必要な方には専門相談を案内し、発達検査や専門医の医療相談を通して生活上の助言を行っています。子ども家庭センターの設置に合わせて関係機関の連携を密にし、安心して相談できる体制と必要な支援を受けられる体制をさらに充実させ、子供やご家族が安心して生活できるように努めます。

学校再編について

問 中高生に対するアンケートの内容は。

答 小中学校のクラス替えや中学校の部活動について質問する予定です。

■その他の質問項目

- ・ 電動キックボードについて